

豊かな未来を、ともに創る

自民党

金子容三

(41歳)

ようぞう

県北地域・五島列島のため、長崎県のため、そして、日本のために粉骨砕身働く覚悟で、この度の第50回衆議院議員総選挙に立候補いたしました。

県北・五島の賑やかさを取り戻すことが、長崎県全体の活性化につながり、ひいては日本経済の活性化にもつながります。

私を育ててくれた、ふるさと長崎県北・五島から皆さまの声を国政へと届ける決意と、国・県・市の強い連携で実現を目指す公約をまとめました。ぜひ、ご高覧いただけましたら幸いです！

(金子容三の公約)

- 国民に信頼される政治改革の断行
- 地域の特徴・特性を活かした産業振興・地域経済活性化
- 食料安全保障の確保に資する農林水産業振興
- 持続可能な社会保障の確立
- 未来を担う子ども・子育て支援、教育投資の強化
- 安心・安全を確保する安全保障と防災・減災への取り組み強化
- 安全保障の強化も踏まえたさらなる離島振興

比例代表は
公明党

(プロフィール)

1983年(昭和58)長崎県生まれ。佐世保市立木風小学校、青雲中学・高等学校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業、ウィリアム&メアリー大学(米国)修了、経営学修士(MBA)取得。

元証券会社社員。2023年(令和5)衆院旧長崎4区補欠選挙にて初当選。